

2025 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

エクソンモービル社 南米ガイアナ Hammerhead プロジェクト向け FPSO の EPCI 契約を受注

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮田 裕彦、以下「当社」)は、ExxonMobil Guyana Limited(以下「エクソンモービル社」)による最終投資決定(Final Investment Decision:FID)を受け、Hammerhead プロジェクト向け FPSO(Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)の EPCI(Engineering, Procurement, Construction and Installation:設計、資材調達、建造、据付)契約を受注しましたのでお知らせいたします。

本年4月、当社はエクソンモービル社から限定的着工指示(LNTP)を受領し、必要な政府承認を前提に、2029年の可能な限り早期の生産開始を支援すべく、第1フェーズである FEED(Front-End Engineering Design:基本設計)に着手しました。すでに FEED 業務は完了しており、第2フェーズの EPCI 実行に向けた準備を進めております。

Hammerhead FPSO は、初期年間平均で日量 15 万バレルの原油生産能力を有し、随伴ガスおよび水処理にも対応します。当社米国子会社の SOFEC 社が設計・建造する Spread Mooring(スプレッド・ムアリング:多点係留)により、水深約 1,025m の海上に係留予定です。

本 FPSO は、現在建造中のエクソンモービル社 Uaru プロジェクト向け Errea Wittu に続き、ガイアナで利用される当社2基目の FPSO となります。Uaru プロジェクト同様、原油生産開始から 10 年間、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供いたします。

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発 (MODEC) は、FPSO(Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。
<https://www.modec.com/jp>